

6 外国の生活時間調査について

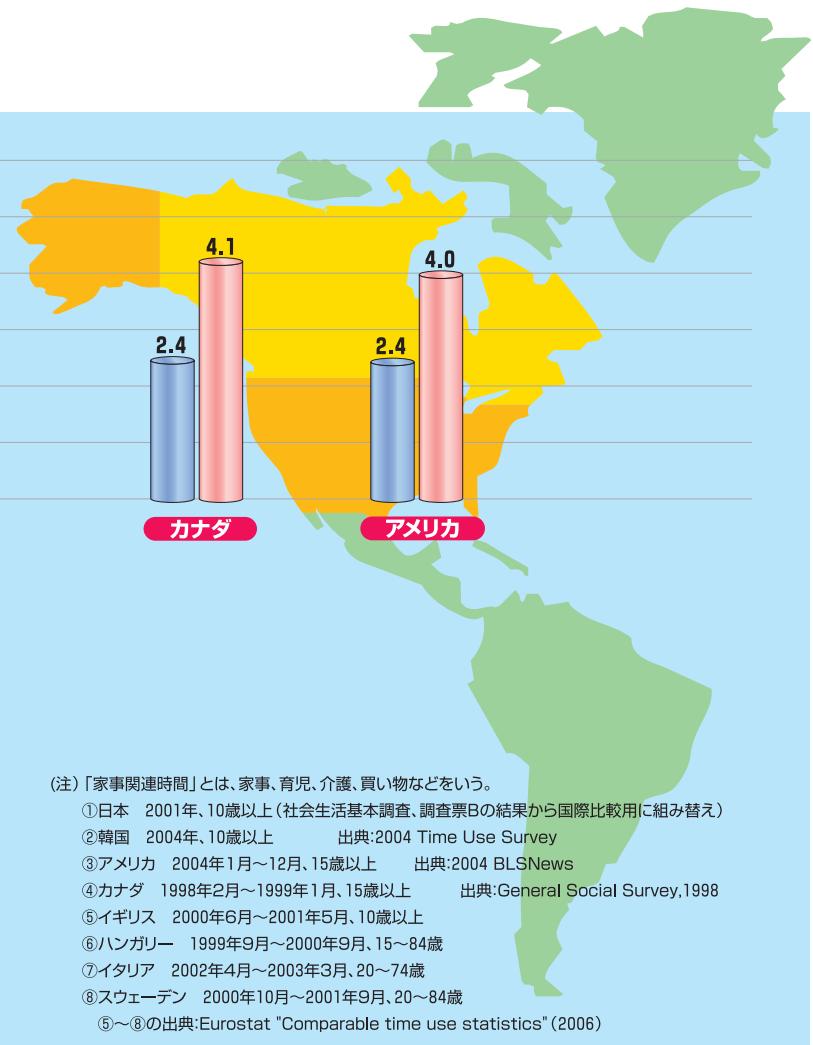
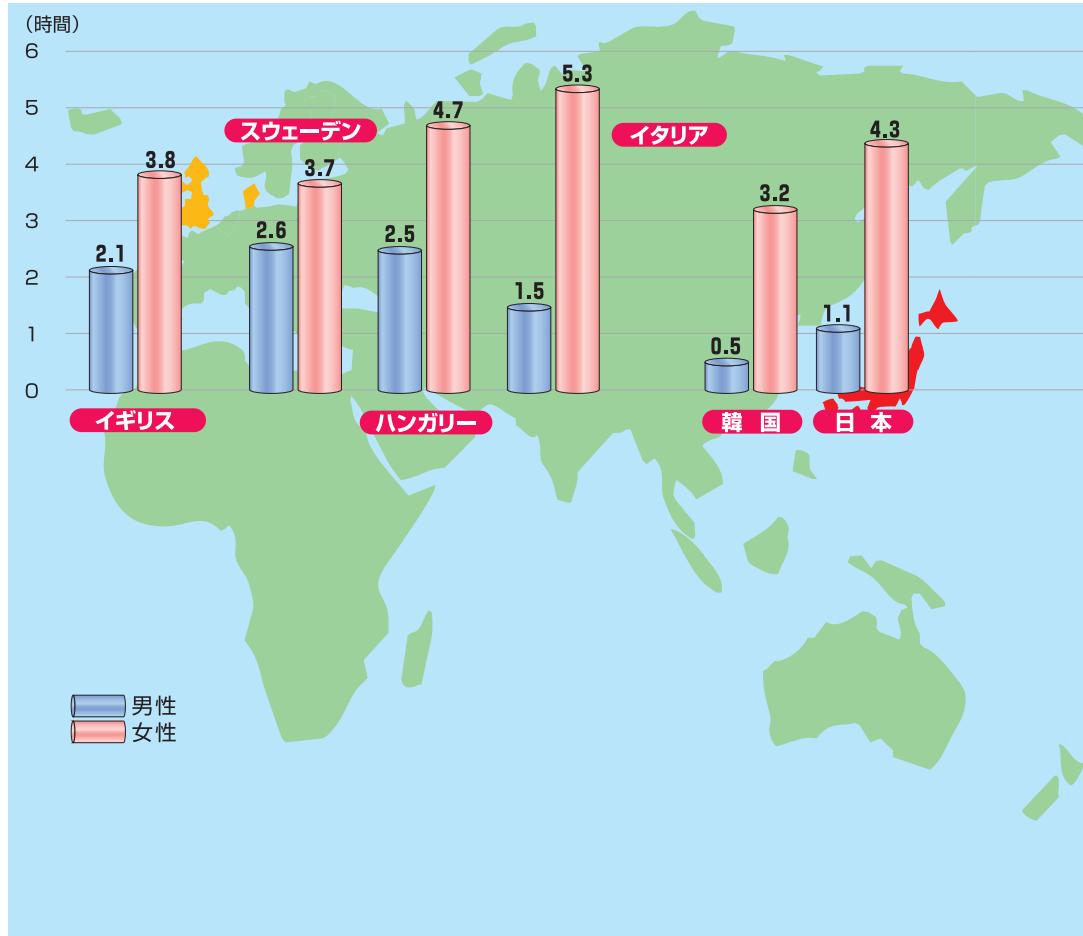
生活時間調査は多くの国で実施されています



生活時間の配分に関する調査(一般に「生活時間調査」と呼ばれます。)は、経済統計では得られないさまざまな活動を網羅的に把握できることから、特にアンペイドワークの把握方法として、世界的に注目され、多くの国において実施されるようになりました。

男女別にみると、日本では男性の家事関連時間が他国に比べて短くなっています。

●1日あたりの家事関連時間(週全体)



(注)「家事関連時間」とは、家事、育児、介護、買い物などをいう。

- ①日本 2001年、10歳以上 (社会生活基本調査、調査票Bの結果から国際比較用に組み替え)
- ②韓国 2004年、10歳以上 出典:2004 Time Use Survey
- ③アメリカ 2004年1月～12月、15歳以上 出典:2004 BLSNews
- ④カナダ 1998年2月～1999年1月、15歳以上 出典:General Social Survey,1998
- ⑤イギリス 2000年6月～2001年5月、10歳以上
- ⑥ハンガリー 1999年9月～2000年9月、15～84歳
- ⑦イタリア 2002年4月～2003年3月、20～74歳
- ⑧スウェーデン 2000年10月～2001年9月、20～84歳
- ⑨～⑩の出典:Eurostat "Comparable time use statistics" (2006)